

「令和6年能登半島地震」組合員支援・視察行動！

## 能登半島地震支援カンパに

## 全力で取り組もう！



1月31日、JR総連を代表して山口委員長・熊谷書記長は、JR西労・JR貨物労組本部とともに、「令和6年能登半島地震」で被災された組合員支援と視察をおこなってきました。



被災地は、路面の隆起やヒビ割れなど道路状況が悪く、復旧作業にむけた瓦礫の撤去作業などは進んでいません。また、被災地の各自治体のボランティア受け入れ態勢も整っていない状況を目

のあたりにしてきました。

被災した組合員からは、「自宅が倒壊の危険性があるため、避難先での生活を余儀なくされている」「先々のことを考えると不安。仲間や職場にいるときはいいが、一人になると辛い」など、不安な思いが語られました。



JR貨物労組・富山機関区分会組合員との意見交換の様子

被災された組合員・家族を支えるために、いま私たちができることは「令和6年能登半島地震支援カンパ」を全力で取り組むことです！全国から被災された組合員・家族を支えよう！

## 能登半島地震被災地の現状



(写真左・中)地面の隆起や亀裂などが多数で発生している。

(写真右)液状化現象によって、信号機が半分ほど地中に埋まってしまっている。



(写真左)元々平地だった公園。地盤が大きく動き段差が生まれ、亀裂も多数発生している。

(写真中)液状化によって「水と砂」が噴出した形跡。

(写真右)のと鉄道「七尾～七尾港」駅間。レールにも歪みが発生している。